



[大村初恵さん\(玄関先で\)](#)

昨年開催されました第21回静岡県すこやか長寿祭熟年メッセージ大会において、「感謝の道が私のいきがい」の作品で見事グランプリを獲得された、吉田町在住の大村初恵さん(73歳)に喜びの声を伺いました。(令和3年1月10日取材)

(高井)

この度はグランプリ獲得おめでとうございます。

(大村)

ありがとうございます。正直吃驚しています。



[「70歳のたしなみ」\(坂東眞理子著\)](#)

(高井)

この熟年メッセージ大会に応募したきっかけは？

(大村)

一昨年に一度この熟年メッセージ大会にチャレンジしましたが、その時は残念ながら落選でした。今回もう一度応募したきっかけは、東京に住む弟から「70歳のたしなみ」(坂東眞理子著)という本をプレゼントされ、それを読んでとても感銘を受け元気と勇気もらったこと、また、3年前に主人を亡くしてからは呆然とした生活をしていましたが、こんな生活をいつまでもしてはいけない、何か自分でも出来ることをしてみたいと思うようになったからです。そこでもう一度、今まで自分がやってきたことを文章に書いてみたいと思い、今やっていることを書いていただけなんです。それがグランプリ獲得ということになり嬉しいですが、今はまだピンときていません。吃驚しています。



[職場の大村さん](#)



[食事指導のメニュー](#)

(高井)

今回2000字以内という制限がありました。自分の思いを書くことが出来ましたか？

(大村)

2000字というのは文章にしてみると制限があるんだなと感じました。かなり要約をして削除することになりました。特に「その1、ボランティアの食事指導・・・」の箇所、地元の知人のご主人から奥さんの食事指導についての相談のことしか書けませんでした。実際にはご主人も中性脂肪が多く肥満気味であったので、奥さんの分と一緒に食事指導をさせていただいていました。今回は、そのご主人の食事指導の部分を削除することにしました。自分としては2000字の制限がなければもう少し詳しく書きたかった箇所です。一方で2000字でまとめることも大切なことだと思いました。



[職場の仲間のみなさん](#)



[お花を届ける郵便局のみなさん](#)

(高井)

これから大村さんの人生についてお聞かせください。

(大村)

振り返りますと、私は今までの人生の中で多くの方や友人に恵まれ大変お世話になってきました。幸せな人生だと感謝しています。これからは、私が感謝の気持ちで恩返ししないといけないと強く思うようになり、明るく前向きに「感謝の道」を歩んで参りたいと思います。

また、孫が私の勤めている介護施設に就職することになったので、これからは一緒に仕事ができる喜びを生きがいとして頑張る参ります。

さらに、73歳でも好きな仕事ができることに感謝の気持ちを込め、引き続き頑張る参ります。そして、庭で栽培している花が咲いたら郵便局や勤めている介護施設へ、花を届けて参りたいと思います。

(高井)

本日はご多忙のところ有難うございました。これからも「感謝の道」を明るく前向きに歩いていってください。

取材：小笠・榛南地区担当 生きがい特派員 高井 豊